



Vol. 4
たべもの

はじめまして えほん

—0・1・2才のあかちゃんへ—



一宮市立子ども文化広場図書館

2013年4月

生活の中のえほんの役割

あかちゃんにとって食事は、生きていくうえで、一番大切なこと。母乳やミルクが始まった時から食育は大事です。食べ物のえほんをくりかえし読むことで、食べ物の名前や食べ方、食べることの大切さや楽しさを自然に身につけていってほしいものです。



やさいもぐもぐ

ふくざわゆみこ 作・絵
ひかりのくに 2010年

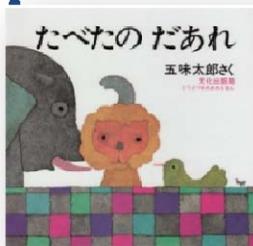
とてもおいしそうないとかたちのやさいたち。そのえからおとまできこえてきます。「ど・れ・が・す・き？」とあかちゃんとやさいをえらびながら、もぐもぐしてみたいかが？



たべたの だあれ

五味太郎 さく
文化出版局 1977年

「たべたの だあれ」。たべものをたべたどうぶつをさがしましょう。ヒントはたべもののえ。あせらずゆっくりあかちゃんとさがしてたのしんでね。





コロちゃんのケーキづくり

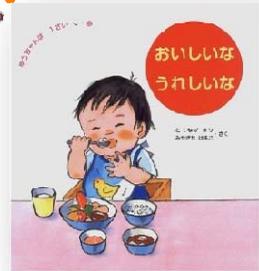
エリック・ヒル さく／まつかわまゆみ やく
評論社 2005年

パパのたんじょうびにケーキをやくことにしたコロちゃんとママ。しかけのえには、おてつだいしているコロちゃんがかくれているよ。パパはよろこんでくれるかな？

おいしいな うれしいな

とくながまり 作／みやざわはるこ 作
アリス館 1996年

じふんでごはんをたべるよろこび。ひとりよりみんなでたべるほうがおいしいね。てでぱっくん、スプーンでもぐもぐ、ミルクをごっくん。たべるたのしさがつたわり、やさしいきもちになれます。



かんぱいごっくん

石倉ヒロユキ 絵／真木文絵 作
岩崎書店 2008年

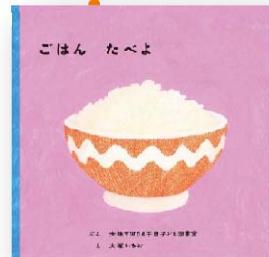
ミルクのはいったマグカップがふたつ。うさぎさんと「かんぱい」して、なかよくごっくん。だれかと「かんぱい」したら、ごくごくがだいすきになりますよ。こんどはだれとのむのかな？



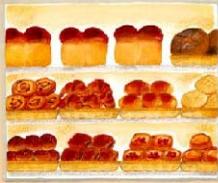
ごはん たべよ

大塚いちお 絵／大阪YWCA千里子ども図書室 文
福音館書店 2012年

「ごはん たべよ」テーブルには、できたてのおいしそうなおはん。スプーンとフォーク、おはしもならべ、エプロンかけたら、たべるじゅんびはおッケー。さあ、みんなで「いただきます」



ぱん だいすき



巨大編 200. ぶんくしまあきえ 文
福音館書店

ぱん だいすき

ぶんくしまあきえ 絵／征矢清 文
福音館書店 2007年

ぱんやさんには、やきたてのおいしいそうな
ぱんがいっぱい。ぱんのいいにおいにつつま
れて、ひとつ、ふたつ…とえらんでいく。「ぱ
ん、だいすき」 さあ、おうちへかえって、いた
だきまーす。



ポケット ほん

童きみか 絵／間所ひさこ 作
フレーベル館 2009年



「ほん ほん ほん！」とポケットをたたくと、おかしやく
だもののができました。つぎにでてくるいいものなあに？
ポケットのえをたたきながら、ページをめくる、たのしい
えほんです。



くだもの だーれ？

よねづゆうすけ



くだもの だーれ？

よねづゆうすけ 作
講談社 2012年

「かくれんぼしてるの だーれ？」くだもの
がだれかにへんしんしてかくれているよ。
めくってみるしかかけえほんになっています。



おべんとうバス

真珠まりこ 作・絵
チャイルド本社 2009年

おべんとうバス

真珠まりこ



「バスに のってください」。つぎつぎにおべん
とうのたべものたちがバスにのります。ぜんい
んそろったところで… 「みんな いっしょに
いただきます！」